

令和8年度 星翔高等学校 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

これまで培ってきた伝統や教育活動を踏まえ、多様な学びを備える本校の強みを生かし、

・ 建学の精神である「ものづくりの精神」を核として、基礎を身につける喜び、徹底して磨き上げる喜び、協力して成し遂げる喜びを土台に、創造へ挑む力を育む教育活動を展開する。

・ 各科やコースごとに、下表に示した学力・能力・技能などの育成をめざす。

【学校方針】

この実現のため、従来の良さは大切にしつつ、学校全体の改善策を教職員が分担して継続的に推進できる組織体制を整備する（伝統の継続／選択と集中）。さらに、各部署や科コースの取り組みを互いに理解・尊重し合い、教職員同士が役割の中で学び合い、成長を続ける学校をめざす（尊重と成長）。

	工業技術系 4 工学科	普通科 3 コース		
	機械、電子機械、 電気、コミュニケーションシステム	特進アドバンス	総合キャリア	アスリート
育成したい学力・能力・ 技能等	専門技術の基礎と応用力、課題解決力、実践的問題発見力	高い学力・論理的思考力・主体性・探究力	社会理解力・コミュニケーション力・多様な価値の尊重	競技力・人間力・礼節・チームワーク・自己管理能力
指導の重点（選択と集中）	専門実習や体験を通じたキャリア指導、資格取得	大学受験に必要な科目を絞り、基礎から応用まで	キャリア形成の基盤構築およびキャリア体験	スポーツ活動を通じて専門性と競技力、礼節や人間力を磨く
進路	大学（理工学系）・高専・専門学校への進学、製造業・機械・電気・情報系企業への就職	国公立・難関私立大学への進学	大学・短期大学・専門学校への進学、就職など多様な進路	体育系大学・専門学校への進学、就職など、競技経験を生かした進路

2 中期的目標

I. 確かな学力の育成と授業改善

(1) 基礎的・基本的な学力の定着と授業力の向上

ア 教員相互の授業見学や研究授業、生徒の授業評価等を活かし授業力の向上に取り組む。

イ ICTを活用した効果的な授業展開を推進する。

ウ 「まなびサポートスペース」を活用するなどの自主学習を支援し、学習意欲と学力の向上をめざす。

*学校教育自己診断（生徒）の「授業はわかりやすい」について、肯定率70%以上をめざす。

*学校教育自己診断（教職員）の「コンピュータやひとり1台端末などのICT機器が、授業などで活用されている」の肯定率75%以上をめざす。

(2) 「ものづくり教育」の充実

ア 幅広い知識と専門的な技術・技能及び勤労観・職業観を身につけさせるため、大学、企業等との連携を推進するとともに、実習授業のさらなる充実を図り、資格に挑戦できるよう学習支援体制を整える。

イ 「ものづくり教育」をさらに充実させ、魅力的にするために、工業各工学科の教育課程を見直し、再編について検討を進める。

*資格取得を奨励し、全国工業高等学校長協会（全工協会）で資格取得に応じて点数化されて、その合計点により顕彰されるジュニアマイスター制度を奨励し、特別[T]・ゴールド[G]・シルバー[S]・ブロンズ[B]の取得者合計数15名以上を維持する。

*星翔高校ドローンスクールと連携し、二等無人航空機操縦士資格（ドローン国家資格）取得者数50名以上をめざす。

*理工学系大学進学により適切に対応できるよう、教育課程の見直しなどを進める。

II. 夢と志を持つ生徒の育成

(1) 基本的な生活習慣の確立と定着

ア 挨拶や交通規則遵守等の指導を通じて、規範意識の醸成に努める。さらに、時間管理の徹底を図ることで、基本的な生活習慣の定着を推進する。

*学校教育自己診断（生徒）「学校生活について先生の指導は納得できる」の肯定率70%以上をめざす。

(2) 豊かでたくましい人間性の育成

ア 授業・HR活動を通して、他者を理解し尊重する心や態度を養う。

イ 教育相談体制を強化することで、いじめへの対応や支援教育の充実をめざす。また、学習支援活動を通じて、生徒の学びを積極的にサポートする。

*学校教育自己診断（生徒）「先生は、いじめについて、私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の肯定率75%以上をめざす。

*学校教育自己診断（生徒）「担任の先生以外にも、気軽に相談することができる先生がいる」の肯定率80%以上をめざす。

(3) 部活動や学校行事等の充実

ア 主にアスリートコースの生徒が所属する推薦クラブを核に部活動のさらなる充実、改善を進める。

イ 文化祭（星翔祭）・体育大会等の行事の充実、改善を進める。

*学校教育自己診断「星翔祭や体育大会は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定率80%以上をめざす。

(4) 3年間を見通したキャリア教育と進路指導

ア 生徒が自分にふさわしい目標を立て、第一希望の進路実現ができるよう分掌・学年・教科の連携を深め、指導の充実を図る。

イ 就職・進学希望者等の多様な進路希望の実現を図るため、きめ細かな進路指導を行う。

ウ 総合キャリアコースでは、探究学習をより効果的に進め、定着させるための改善策を推進する。また、アスリートコースでは、クラブ活動を授業時間内に行えるよう体制を整備する。

エ 進学希望者への支援体制と特進アドバンスコースの指導を強化し、難関大学への合格実績向上をめざす。

*学校教育自己診断「進路に関する行事の充実」80%以上を維持する。

*就職希望者の内定率100%を維持し、大学進学希望者の実現度100%をめざす。

*国公立大学、難関私立大学への延べ合格者10名以上をめざす。

III. 信頼される魅力ある学校づくり

(1) 地域等との連携・つながる力の育成

ア 部活動や生徒会活動を通して、地域貢献活動を推進し、自己有用感を醸成する。

イ 大学、専門学校等との連携・協働を継続発展させ、自己実現につながる探究心と創造力を育む。

*インターンシップ参加生徒数30名以上をめざす。

(2) 広報活動のさらなる充実

ア 出前授業、学校説明会、HP更新等で魅力発信を強化し、志願者増加を図る。

*入学定員充足を維持する。

(3) 働き方改革の推進

ア 校内業務の精選と組織分掌等の再構築を推進する。

イ 情報の共有化、迅速化を図るとともに、それぞれの部署の取組を尊重し合い、課題解決に向けて教職員が一丸となれる職場環境をつくる。

*分掌、委員会の再編整備を進める。

*年間時間外労働720時間超の教職員をゼロとする。併せて、月45時間超の延べ人数の縮減および月80時間超ゼロをめざす。

	重点目標	具体的な取組み	評価指標	自己評価
I 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 確かな学力の育成と授業改善</p> <p>(2) ものづくり教育の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「主体的・対話的で深い学び」を促進するための研修や授業見学の実施を推進する。</p> <p>イ ICTを活用した効果的な授業展開を推進する。</p> <p>ウ 授業スキルを高めるために、互いに授業を見る環境をつくる。</p> <p>エ 保護者等の授業参観を実施する。</p> <p>(2)</p> <p>ア 国家資格を中心とした様々な資格取得指導を組織的に進め、達成感、成就感を醸成し、生徒の付加価値を高める。</p> <p>イ 理系分野の大学進学に対応する目的で、教育課程を再編成する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 学校教育自己診断「授業はわかりやすい」70%以上[69.4%]。</p> <p>イ 学校教育自己診断(教職員)「ICT機器を活用した授業」60%以上[56.1%]。</p> <p>ウ 授業見学一人1回以上。</p> <p>エ 保護者等200人以上の参加維持[234人]。</p> <p>(2)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアマイスター顕彰者数(特別, ゴールド, シルバー, ブロンズの取得者合計数)15名以上を維持する[18名]。 ・二等無人航空機操縦士資格(ドローン国家資格)取得数40名以上[38名]。 <p>イ 改定教育課程表の完成。</p>	
II 夢と志をもつ生徒の育成	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立と定着</p> <p>(2) 3年間を見通したキャリア教育と進路指導</p> <p>(3) 部活動や学校行事等の充実</p>	<p>(1)</p> <p>無遅刻週間などの取組みを通じて、遅刻数の減少をめざす。</p> <p>ア 集会や普段の学校生活での啓発活動に加え、立ち番指導なども行い、ルールやマナーをしっかりと守れるよう取り組む。</p> <p>イ 特別支援教育コーディネーターを中心に臨床心理士、関係教員の連携を進め、支援を必要とする生徒に対する教員による相談対応の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア 生徒の自己実現に向けた取組みを支援するため、進路3カ年計画に基づき、指導の充実を図る。</p> <p>イ 就職希望者の進路実現に向け、きめ細かな指導を行い、就職一次合格率、内定率の向上を図る。</p> <p>ウ 大学進学希望者の進路実現に向け、大学受験対策委員会、分掌・学年・教科の連携を深める。きめ細かな進路指導を徹底することで、進学先決定率を高めるとともに特進アドバンスコースを核に難関大学合格者を輩出する。</p> <p>エ 特進アドバンスコースの教育課程を、難関大学入試に対応可能な内容へ再編成する。</p> <p>オ 総合キャリアコースの総合探究プログラムの改善、定着を図る。</p> <p>カ アスリートコースにおいて、授業時間内のクラブ活動を令和9年度より本格的に導入するため、必要な事前準備を進める。</p> <p>(3)</p> <p>ア 各種大会等へ参加し、上位入賞をめざす。</p> <p>イ 生徒会等を中心とした学校行事の主体的な運営を推奨する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 一人あたりの遅刻数7回以下[7.2]</p> <p>学校教育自己診断(生徒)「学校生活について先生の指導は納得できる」の肯定率70%以上[69.3%]</p> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断(生徒)「いじめについて、困っていることがあれば真剣に対応してくれる、「担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる」70%以上[いじめ対応67.6%、気軽に相談71.5%]。 <p>(2)</p> <p>ア 学校教育自己診断「進路に関する行事の充実」80%以上の維持[78.6%]。</p> <p>イ 就職一次合格率90%以上、内定率100%の維持[95%、100%]。</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者の決定率100%。 ・関関同立1名、産近甲龍3名以上の延べ合格者数。 <p>エ 改定教育課程表の完成。</p> <p>オ 新規探究プログラムの導入および実施。</p> <p>カ 学期に数回程度、「クラブ活動での運動」をテーマとした授業としてクラブ活動を実施。</p> <p>(3)</p> <p>ア 大会等の具体的成果</p> <p>イ 学校教育自己診断の星翔祭や体育大会に関する肯定率75%以上の維持。[星翔祭77.6%、体育大会75.0%]。</p>	
III 信頼される魅力ある学校づくり	<p>(1) 地域等との連携</p> <p>(2) 広報活動のさらなる充実</p> <p>(3) 働き方改革の推進</p>	<p>(1)</p> <p>ア 大学、専門学校、企業等との連携・協働を継続発展させる。</p> <p>イ 清掃活動、地域との交流(イベントへの参加)等、社会貢献につながる活動に取り組む。</p> <p>(2)</p> <p>出前授業や学校説明会、ホームページの更新などを通じて、学校の魅力発信をさらに強化し、志願者の増加をめざす。</p> <p>(3)</p> <p>ア 情報の共有化、迅速化を図り、解決に向けて教職員が一丸となれる職場環境をつくる。</p> <p>イ 働き方改革の方針に則り、適切な勤務時間管理を実施し、時間外労働の抑制および削減に努める。</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合キャリアコースにおけるキャリア選択授業の生徒授業アンケート肯定率回答80%以上を維持[2年78.1%、3年84.4%]。 ・インターンシップ参加者数20名以上[9名]。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂津市のボランティア活動を含めた地域の行事・イベント等に延べ70名以上参加[65名]。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンスクール来校者2回合計600組以上[561組] ・入学定員(335名)充足。 <p>(3)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年・分掌の会議を、定期的実施する(学年:月1回以上/分掌:隔月1回以上を基本)。 ・年間の時間外労働時間が720時間を超える教職員をゼロにする。 	

【学校教育自己診断の結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 []	学校関係者評価委員会からの意見